

報道関係者 各位

県内の梅毒感染者数 過去最多に！

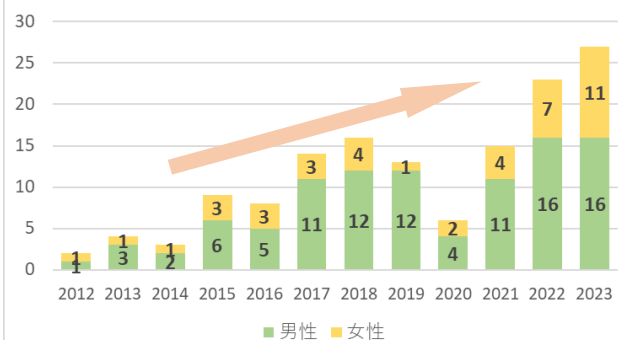
性感染症の一つである梅毒の今年の県内感染者数が46週（11月13～19日）現在で27人となり、記録が残る2006年以降最多となりました。

感染リスクを下げるための避妊具の着用や早めの相談・検査について周知をお願いします。

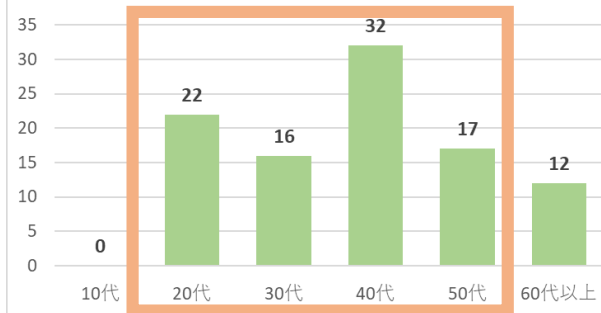
【山梨県の感染状況】（2023は46週まで）

- 2006年以降最も多い報告数
（図1）2012～2023感染者数推移
- 男性は50代まで幅広い年齢層で感染が広がっている（図2）
- 女性は特に20代を中心とした若年層で感染が広がっている（図3）

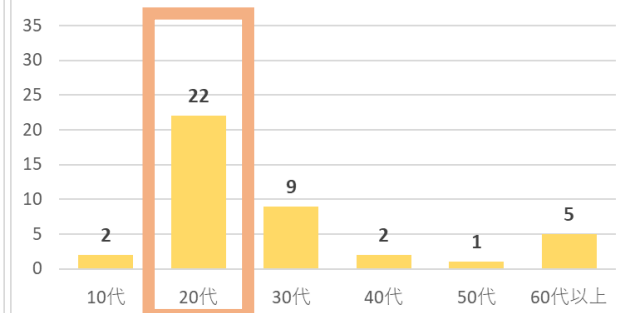
（図1）梅毒感染者数の推移（山梨県）



（図2）男性（2012～2023）



（図3）女性（2012～2023）



【感染の疑いがある場合（症状の有無に関わらず）】

- ・ 梅毒は血液検査で分かります。
- ・ 検査は、感染のおそれがあった日から6週間以降が目安です。
- ・ 検査・診断・治療は医療機関を受診してください。
（男性は泌尿器科・皮膚科、女性は産婦人科・皮膚科 等）

なお、保健所では匿名・無料で梅毒の血液検査を受けることができます。

（エイズ、性器クラミジア、肝炎ウイルス等の検査も同時に受けることができます）

検査に関する詳細は感染症対策グループホームページ参照

https://www.pref.yamanashi.jp/kansensho/kensa_aids_etc.html#tokuteikannsennsyou

※検査日時等は保健所によって異なります。各保健所へ直接お問い合わせください。

【梅毒とは】

- ・ 梅毒とは、「梅毒トレポネーマ」という細菌による性感染症です。
- ・ 主にセックスにより粘膜などから感染しますが、感染力が強くキスでも感染することがあります。
- ・ 感染して1ヶ月後に、性器・口・肛門周囲などにしこりやただれが出ますが、その後症状が出たり消えたりを繰り返しながら、少しずつ進行していきます。
- ・ 治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。
- ・ 梅毒は早期の適切な抗菌薬治療で完治が可能です。
- ・ 妊婦が梅毒に感染すると、流産や死産のリスクが高まることがわかっています。また、母子感染がおり梅毒に感染した状態で赤ちゃんが生まれる「先天梅毒」となることがあります。感染した妊婦への適切な抗菌薬治療によって、母子感染するリスクを下げることができます。

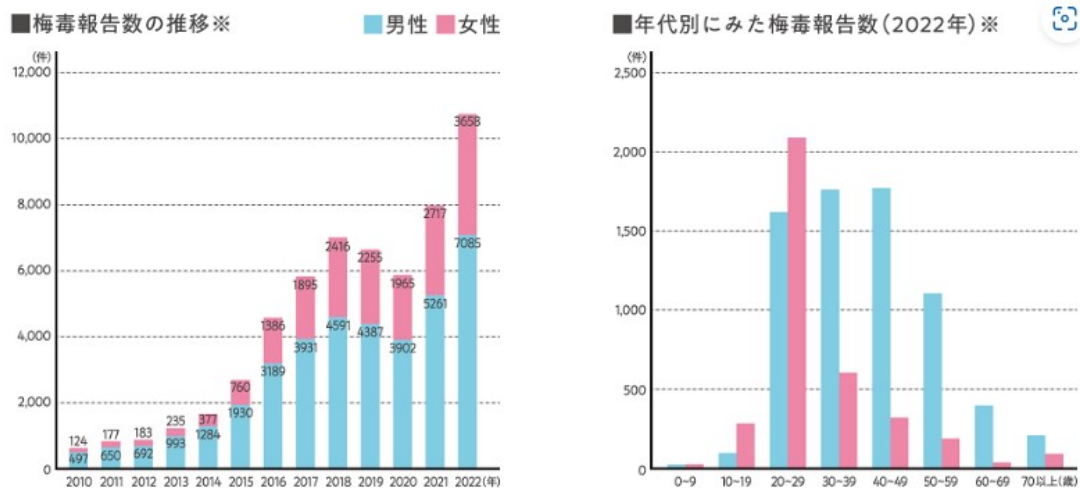
【予防】

- ・ 不特定多数や見知らぬ相手と性行為の機会を持たない。
- ・ コンドームを正しく使用し、性器や体液との直接接触を防ぐ（100%の予防はできません）。
- ・ パートナー同士の感染有無の確認。

（参考1）全国の状況

厚労省HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html



※2021年は、第1～52週2022年10月8日時点集計値（暫定値）、2022年は第1～44週2022年11月9日時点集計値の報告を対象。

（参考2）厚労省Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html